

## 会 議 録

会議録	令和元年度 第4回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 恵那市自主運行バス上矢作線 新たな定期券の設定について</p> <p>(2) とよたおいでんバスの路線改編について</p> <p>①豊田・渋谷線</p> <p>②土橋・豊田東環状線</p> <p>③さなげ・足助線</p> <p>(3) 地域バスの路線改編について</p> <p>①藤岡地域バス（西市野々線、三箇線）</p> <p>②足助地域バス（地域巡回線、通学線）</p> <p>③稲武地域バス（区域運行）</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 地域バスのバス停変更について</p> <p>下山地域バス</p> <p>(2) 令和元年度国庫補助金幹線系統評価について</p> <p>(3) 名鉄バスの路線改編について</p> <p>(4) 地方版図柄入りナンバープレート寄付金活用に関する協議会の機能付加について</p> <p>4 その他</p> <p>当日配付資料</p> <p>とよしば通信、名鉄バスシルバーパス65・ゴールドパス70チラシ、第23回地域バス交通活性化セミナーチラシ、WRC世界ラリー選手権について</p> <p>5 閉 会</p>
日 時	令和2年2月13日（木） 午後2時00分～午後3時30分
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校)          松本 幸正 (名城大学)          清水 敬太 (国土交通省中部地方整備局) (代理：赤坂)          上井 久仁彦 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)          渡邊 重之 (愛知県都市整備局交通対策課) (代理：石川)          岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課)          林 孝臣 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課)          柿本 竜一郎 (愛知県警察足助警察署交通課) (代理：鈴木)          栗本 光太郎 (豊田市都市整備部)          中田 繁美 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会)          釘宮 順子 (豊田市ボランティア連絡協議会)          阿部 利恵 (豊田市 PTA 連絡協議会)          吉村 一孝 (豊田商工会議所)          毛利 康浩 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会)          吉岡 実 (名鉄バス株式会社)          境 政義 (豊栄交通株式会社) (代理：横田)          寺澤 秀樹 (愛知環状鉄道株式会社) (代理：小川)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p> <p>【その他】 恵那市 商工観光部観光交流課</p>
資料	1. 次第 2. 令和元年度 第4回 豊田市公共交通会議 会議資料 3. 当日配付資料

【協議案件】

(1) 恵那市自主運行バス上矢作線 新たな定期券の設定について

- 恵那市 【資料1】に基づき説明。
- 委員 1学期から3学期まで通年で学期定期を購入すると、6か月定期を2回購入するより高くなってしまいます。購入時に丁寧に案内していただきたい。
- 恵那市 分かりやすく案内していきたい。利用の多い明智鉄道沿線の高校生、現中学3年生を対象に案内をしていく予定であるため、御指摘の点もあわせて説明する。
- 委員 1年定期で安いものは導入しないか。
- 恵那市 今回の新たな定期券の設定は、全市でサービスを統一することを目的としており、現在のところは導入する予定はしていない。
- 委員 今後全市的にそのような定期券の導入を検討されるとよい。また、観光にも利用できるとてもいい路線のため、Google 検索ができるよう GTFS 化を進めて PR していただきたい。
- 恵那市 すでに、GTFS 化を進めており最終のデータ確認中である。近日中には検索可能になる予定。Yahoo 検索はすでに対応済みである。
- 委員 豊田市と一緒に観光ルートなどを検討していただけるとよい。
- 委員 学期定期はいつから導入されているのか。
- 恵那市 明確な導入は不明だが、平成16年の市町村合併時には実施していた。
- 委員 豊田市と協同で回遊できる観光ルートを開発いただけるとよい。

<協議結果：全員承認>

## (2) とよたおいでんバスの路線改編について

### ①豊田・渋谷線

○事務局 【資料2-1】に基づき説明。

○委員 利用者の利便性を向上させるともよい改正。労務管理はとても大切なため、今回平日最終便1便を3分遅くすることで、休日の朝1便を6分遅らせることにした理由を皆さんに説明してほしい。

○事務局 年間平日約240日、休日約120日のため、240日×3分と120日×6分となる。年間の勤務時間数をあわせた調整となっている。

○委員 補足として、業務量を厳格にとらえ、年間の業務量を全体の中で考えた調整であるということを付け加えさせていただく。

○委員 利用者への周知方法は。

○事務局 各車両への車内チラシ、豊田市駅での立て看板、各バス停で周知をする予定。

○委員 できれば、看板に他路線に関する要望がある際の連絡先を入れてほしい。

○事務局 検討します。

<協議結果：全員承認>

### ②土橋・豊田東環状線

○事務局 【資料2-2】に基づき説明。

○委員 平日、土休日の分けについては毎回協議をする必要はない。今後は報告で済ませていただいても構わないと思う。

<協議結果：全員承認>

### ③さなげ・足助線

○事務局 【資料2-3】に基づき説明。

意見等なし。

<協議結果：全員承認>

## (3) 地域バスの路線改編について

### ①藤岡地域バス（西市野々線、三箇線）

○事務局 【資料3-1】【第3回資料2-4】（訂正資料）に基づき説明。

○委員 無料運行する目的と過去このような取組をしていたか、また、普段の利用者を乗せこぼした場合の対応策を教えてください。

○事務局 今回初めての取組。昨年からは観光資源を生かした地域の活性化を図るため、商工会や藤岡地域バス運営協議会と回遊を促進するための検討をしてきた。現在、観光協会、区長会、地域住民等の意見をうかがっている最中で、それを踏まえて回遊ルートを選定や地域資源の体験メニューを検討している。今回、イベント時における無料運行で周辺のバス停の利用状況をつかみ、回遊促進につなげるとともに地域バスの利用促進にもつなげたい。また、乗せこぼし対策については、過去の乗降実績から考えると可能性としては低いですが、万が一のことも考え追従便を運行できる体制を取る予定。ちなみに、昨年の4日間の乗車人数は、各便1～4名であった。

○委員 乗せこぼしの可能性は低いと思われるが、初めての取組なので、対応をお願いしたい。また、イベント時以外のバス活性化の取組も引き続きお願いしたい。

○委員 これは料金制度の変更ではないか確認したい。

- 事務局 通常、運行経費から運賃収入をひいた額を運行事業者に支払っているが、運賃収入がないためその分も市が負担する形であり、料金制度の変更ではない。
- 委員 乗車人数は把握しているか。
- 事務局 昨年4日間で120名ほどの乗車だった。今年度はそれプラスアスファになると想定している。
- 委員 せっかくの無料なので、この機にバスの乗車を体験してもらえそうなイベントを企画してもらえればと思う。
- 事務局 積極的に検討していきたい。
- <協議結果：全員承認>

### ②足助地域バス（地域巡回線、通学線）

- 事務局 【資料2-2】に基づき説明。
- 委員 通学線の「五反田上」のバック・切り返しについて、事務局には運輸規則に関する考え方は伝えてある。安全管理は徹底していただきたい。
- 事務局 運行事業者と一緒に現地は確認しているが、運行開始後も安全管理を徹底していきたい。
- 委員 「椿立上」バス停新設地は山の斜面にあるようだが、安全上は大丈夫か。
- 事務局 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）及び土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）にはあたらないことを確認している。
- 委員 バス停新設については、継続的に管理できるように、悪天候、夜間などの状況を確認した上で設置場所を決定してほしい。
- 事務局 「椿立上」バス停は写真では分かりづらいが草が生えていて、完全にぬかるむような場所ではなく、地域巡回線での利用も問題なく行われている。また現在、足助地域バスには夜間運行するダイヤがないが、今後バス停新設を検討する際には十分注意していきたい。
- <協議結果：全員承認>

### ③稲武地域バス（区域運行）

- 事務局 【資料2-3】に基づき説明。
- 委員 費用対効果をどう考えるか。利用促進のための具体策は何かあるか。
- 事務局 最も効果のあるのは防災ラジオによる呼びかけと実感している。稲武地区は防災ラジオが全戸配布されているため、多くの人が聞いている時間帯を狙ったPRを予定している。また、地域が企画しているイベントとあわせて案内をし、バスの利用促進をしていきたい。費用対効果については厳しい状況ではあるが、1度使って慣れてもらう、高齢の方は2人、3人と仲間を作って使ってもらうことで波及効果が高いと考えている。高齢者を対象にした積極的なPRをしていきたい。
- 委員 高齢者は1人ではなく、誰かがリーダーとなって「一緒に行きましょう」という声掛けをしてもらうことで利用することが多い。リーダーに声掛けをもらい仲間を募ってもらおうのがいいと思う。
- 事務局 参考にさせていただく。
- 委員 バス停新設の実施はいつになるのか。
- 事務局 2月1日を予定していたが、公共交通会議後、これから新設する予定である。
- <協議結果：全員承認>

【報告案件】

(1) 地域バスのバス停変更について

下山地域バス（区域運行）

○事務局 【報告1】に基づき説明。

意見等なし。

(2) 令和元年度国庫補助金幹線系統評価について

○愛知県 【報告2】に基づき説明。

意見等なし。

(3) 名鉄バスの路線改編について

○名鉄バス 【報告3】に基づき説明。

○委員 このバスがあるから名古屋から五ヶ丘に移住した人を知っている。とても残念がっていた。

○委員 免許証を持たない人が残念がっていた。

○名鉄バス 豊田営業所にも多くの問い合わせをいただいております。非常に残念であるという御意見は受け止めています。合理的な運行を図りながら守るべき路線はきちんと残していかなければならない。乗務員不足が深刻な状況であり苦渋の決断であることを御理解いただきたい。

(4) 地方版図柄入りナンバープレート寄付金活用に関する協議会の機能付加について

○事務局 【報告4】に基づき説明。

○委員 補足説明をさせていただく。本事業は地域 PR のために導入し、寄付金の使途は地域で自由に決められることになっている。寄付金の使い道はある程度決まっていること、協議会で諮ることが前提となっている。豊田市においては、公共交通会議に協議会としての機能を付加することが提案されたところである。ちなみに県内では春日井市が地方版図柄入りナンバープレートを導入しており、公共交通会議で協議することが決まっている。全国的にも協議会を作って使途を協議しているところはまだ少なく、熊本県が自家用車の安全補助装置を導入する際の補助として寄付金を使うことを決めたと聞いている。

4 その他

○名鉄バス 当日配付資料の説明

○愛知運輸支局 当日配付資料の説明

○豊田市経営戦略課 当日配付資料の説明

以上